

## 地域再生プロジェクトの実施結果調書

市町村名	夕張市
------	-----

## 1 地域再生プロジェクト実施結果（プロジェクト全体）

（ 年計画のうち 年目）

実施地域	市町村名：夕張市 民間団体名：夕張市社会福祉協議会、ゆうばり再生市民会議	計	1 市町村 2 団体
プロジェクト名	地域支えあい推進プロジェクト	格差の分野	社会構造の格差
地域の課題及び地域再生プロジェクトの目標	<p><b>地域の課題</b> 本市は、高齢者比率が40%を超え高齢化率が全道一となっている。今後想定される人口の減少及び高齢者の割合の一層の増加に対応しなければならないが、本市が法に基づく準用再建団体ということもあり、行政単独では今後の対応が困難となる。</p> <p><b>プロジェクトの目標</b> 高齢化率が全道一であり、かつ財政再建団体となった夕張市において、高齢者が生きがいを持って生活できるよう、市内における官民の協働体制を構築し市民全体で支えあう地域社会を創造することを目標とする。</p>		
取組の成果	<p><b>住民等の評価</b> 本市財政破綻を契機に、市民の中に「自分たちのまちは自分たちの手で作り上げる」という自立の発想が生まれだした。 本プロジェクトの主旨は市民全体で高齢者を含む地域を支えあうものであり、本プロジェクトの推進と合わせ、地域支えあいのための市民の意識が昨年にも増して醸成されてきたと考えられる。 具体的には、昨年度も行った「高齢者声かけ運動実施事業」や「除雪ボランティア事業」に加え、本年度新たに「除雪機貸与事業」としてコミュニティ全体で地域の除雪体制を構築するシステムの基盤づくりを行ったほか、昨年度試験的に行った「ふれあいサロン」を今年度本格実施し、地域のお年寄りの相談対応や住民同士の交流の場として地域が自主的にサロンを運営することにより、住民にも好評を得ているところである。</p> <p><b>計画に対する達成度</b> (プロジェクト構成事業事の達成度)</p> <p>シルバー専用住宅管理事業 ほぼ計画どおりに推進できたと考える。 緊急通報システム運用事業 ほぼ計画どおりに推進できたと考える。 高齢者能力活用事業 ほぼ計画どおりに推進できたと考える。 高齢者公共交通利用負担軽減事業 事業はほぼ計画どおりに推進できた。 高齢者声かけ運動実施事業 取り組みとして今後も一層広めていく必要があると考える。 除雪ボランティア事業 昨年整備した用具を用い今年度も大勢の除雪ボランティアの参加を得た。 市営住宅再編調査事業 住民意向調査を行い、今後の住宅再編作業の指針となった。 除雪機貸与事業 コミュニティ組織への貸与のための除雪機が整備できた。 ふれあいサロン運営事業 ほぼ計画どおりに推進できたと考える。</p>		

	<p><b>具体的な効果</b></p> <p>行政と協働し地域の支えあいに取り組む市民団体等の活動が昨年度にも増して活発化している。</p> <p>具体的には、除雪や清掃・草刈り等の環境美化ボランティア運動の企画・運営及び積極的な参加や、高齢者主体の地域の集いへの参加などが挙げられる。</p> <p>また、市の財政破綻により連絡所を廃止したことに伴い昨年開設実験を半年間行なった「ふれあいサロン」を今年度本格実施することができ、地域住民交流の拠点として位置づけられている。</p> <p>さらに、地域コミュニティの再生を目的に行なった市営住宅再編調査事業においては、住宅再編に向けた住民の意識調査を行い、住宅移転に対する住民の考え方をとらえることができ、今後の再編作業に向けたひとつの指針を得ることが可能となった。</p>	<p><b>交付金支援期間終了時の成果目標に対する現時点での達成状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政との協働に取り組む市民活動団体 3 団体 (H19 当初)    6 団体 (H20 末)</li> <li>・ 高齢者移送サービス運転協力者 0 名 (H19 当初)    20 名 (H20 末)</li> <li>・ 除雪ボランティア等の参加者 30 名 (H18 末)    100 名 (H20 末)</li> </ul>
<p><b>プロジェクト推進上の課題・問題点</b></p>	<p><b>課題点等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域を支えあう意識を、市民の一部ではなく今後幅広く浸透させること、およびこの意識が財政破綻を契機とした一過性のものではなく永く継続したものとなるような仕組みづくりが課題となる。</li> <li>・ また、高齢者の社会参画を促すため公共交通の重要度が増しているが、財政破綻等の要因による人口減少のため、その維持継続が今後問題となってくるところである。</li> </ul> <p><b>課題を踏まえた今後の展開</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当市は、財政再建計画を策定する上で事務事業の抜本的な見直しを行なったものであり、そのうえでも市民と行政の協働体制を今後推進させることが必要不可欠であると考ええる。</li> <li>・ 高齢者が生きがいをもって社会参画ができ、住民相互が地域を支えあう活動を今後とも継続的なものとするため、一つの方法としてボランティアを有償にすることを検討するなど、財政再建団体である当市として今後国・道と連携しながら様々な制度を活用した中で取り組んでいくべきであると考ええる。</li> </ul>	

## 2 地域再生プロジェクト構成事業（今年度実施分）

### （1）実績額について

（単位：千円）

No	事業名 ----- 実施主体 ----- 実施年度	事業費	財 源 内 訳					交付金要望額
			国の支援制度	道の支援制度	市町村補助等	自己財源	その他	
1	シルバー専用住宅管理事業	(21,756)	( )	( )	( )	( 17,010)	( 4,746)	( 0 )
	市	6,107				4,568	1,539	0
	19年度～21年度							
2	緊急通報システム運用事業	(12,216)	( )	( )	( )	( 12,216 )	( )	( 0 )
	市	4,386				4,386		0
	19年度～21年度							
3	高齢者能力活用事業	(52,173)	( )	( )	( )	( 52,173 )	( )	( 3,060 )
	市	12,426				12,426		0
	19年度～21年度							
4	高齢者公共交通利用負担軽減事業	( 22,818)	( )	( )	( )	( 22,818 )	( )	( 15,800 )
	市	5,014				5,014		4,100
	19年度～21年度							
5	高齢者声かけ運動実施事業	( 0)	( )	( )	( )	( 0 )	( )	( 0 )
	住					0		0
	19年度～21年度							
6	除雪ボランティア事業	( 300)	( )	( )	( )	( 300)	( )	( 200 )
	市・住	0				0		0
	19年度～21年度							
7	市営住宅再編調査事業	( 3,000)	( )	( )	( )	( 3,000)	( )	( 2,940 )
	市	1,946				1,946		1,900
	19年度～20年度							
8	除雪機貸与事業	( 2,500)	( )	( )	( )	( )	(2,500)	( 0 )
	市	2,500					2,500	0
	20年度～21年度							
9	ふれあいサロン運営事業	( 1,200)	( )	( )	( )	( )	( 1,200 )	( 0 )
	公	1,200					1,200	0
	20年度～21年度							

計	事業数 [ 9 ]	( 115,963)	( )	( )	( )	( 107,517)	( 8,446)	( 22,000 )
	実施主体数 [ 3 ]	33,579				28,340	5,239	6,000

注 1 プロジェクトを構成する全事業の実績について記載すること。

2 記載に当たっては、別記第 2 号様式に準じること。

(2) 実施内容について

No	事業名	計画内容	実施状況	効果・課題	今後の展開
1	シルバー専用住宅管理事業	高齢者専用住宅の冬期除雪管理を含めた管理運営を行なう。	本市清水沢清陵地区に設置された3棟計42戸のシルバー専用住宅の管理運営及び定期的な除雪作業を行なった。	【効果】 ・住宅居住者の定期的な安否確認が可能となった。 ・清掃・除雪等住宅の維持が行なうことができ、居住する高齢者への配慮を行なうことができた。	高齢化率全道一である本市としては、高齢者向け住宅のニーズが絶えることはないため、次年度以降も本事業は継続の必要がある。
2	緊急通報システム運用事業	独居老人へ緊急通報送信機を給付し、緊急時の連絡体制を整える。	緊急通報装置については、本年度14件の新規設置及び10件の保守委託を行なった。また、本システムにより年間221件の受信があった。	【効果】 ・高齢者・障がい者の非常時における連絡体制が整備されてきた。	高齢化率が年々上昇し且つ居住地が集約化されていない本市にとって、緊急時の連絡体制を今後とも整備する必要あり。
3	高齢者能力活用事業	除雪における高齢者相互扶助のしくみづくりを行なう。	一定の条件(65才以上・非課税・公共料金滞納なし)を満たした世帯に高齢者ヘルパーを派遣し除雪の担い手となってもらった。 (具体的除雪実施内容) ・12月 実施世帯124世帯 実施回数676回 ・1月 実施世帯124世帯 実施回数702回 ・2月 実施世帯129世帯 実施回数993回  計 実施世帯377世帯 実施回数2,371回	【効果】 ・本事業実施により、本プロジェクトの主旨である高齢者どおしが支えあうまちづくりの体制が構築できた。	高齢者の相互扶助の仕組みは、高齢化率が高い本市にとって欠くべからざるものであり、今後とも一層の推進が望まれる。
4	高齢者公共交通利用負担軽減事業	高齢者が公共交通を使用する際の負担軽減を図る。	1回あたり300円の自己負担により敬老乗車証を発行。(公共交通機関に頼らざるを得ない高齢者に配慮を行った。) (具体的利用者数) 4月 1,718人 5月 1,622人 6月 1,654人 7月 1,559人 8月 1,572人 9月 1,449人 10月 1,592人 11月 1,350人 12月 1,353人 1月 1,144人 2月 1,141人 3月 1,192人 計17,346人	【効果】 ・公共交通機関に頼らざるをえない高齢者に配慮を行なうことができた。 【課題】 ・自家用車を持たない高齢者の移動手段の確保、及び社会参画の一助として本事業は必要と考えるが、人口減少が見込まれるなか、今後の市内交通体系の維持をどう図るかが課題となる。	市内交通体系の維持存続を本市財政再建(財政再生)と併せ総合的に検討していく。
5	高齢者声かけ運動実施事業	独居老人の事故・孤独死等防止のため地域住民の連携による声かけ運動を実施する。	地域住民、民生委員等ができる範囲のなかで、近所に声をかけてまわる活動を行なっている。	【課題】 ・必要なマンパワーの確保、住民意識の継続が今後の課題とされる。	高齢者・障がい者の引きこもり対策として、移送サービスと併せて今後も継続が必要。

6	除雪ボランティア事業	民間ボランティアとの協働による除雪体制を整える。	<p>昨年度整備したスcoop、スノーダンプ等の除雪用具を用い、除雪ボランティアとの共同で市内施設・住居の除雪を行った。</p> <p>(主な除雪ボランティア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H21年1月24日 参加者 230名</li> <li>・H21年2月5日 参加者 28名</li> <li>・H21年2月7日 参加者 30名</li> <li>・H21年3月7日 参加者 82名</li> </ul>	<p>[効果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度にも増して多くの除雪ボランティアの参加があった。</li> <li>・高齢者等が多く除雪が行き届かない地域の除雪も実施でき住民に好評を得た。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの有償化など事業を継続する方法について検討の必要あり。</li> </ul>	<p>高齢化が進む本市において、除雪ボランティアの必要性が今後増すことが考えられ、ニーズとシーズを上手にマッチングさせることが必要。</p>
7	市営住宅再編調査事業	地域コミュニティの再生等を目的に市営住宅の集約化に向けた検討を進める。	<p>市営住宅の集約化に向けた検討材料として、居住者に生活状況・住替意向などのアンケートを行いデータをまとめた。</p> <p>(具体的作業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居住者へのアンケート作成、配布、回収 (配布数 1,048 回収数 742 回収率 70.8%)</li> <li>・データの集計、分析</li> <li>・ホームページ等への公表</li> </ul>	<p>[効果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本データをより住宅の集約化に向けた今後の検討課題が明確となった。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅再編に向けた具体的事業計画を、本年度策定予定の財政再生計画と併せ検討していく必要がある。</li> </ul>	<p>住宅再編に向けた具体的事業計画の策定及び実施。</p>
8	除雪機貸与事業	自力で除雪が困難な個所を地域全体で支えあうシステムを構築するため、除雪機を購入し、地域へ貸与を行う。	<p>南北に細長い夕張市の事情を勘案し、本庁及び南支所に各2台の除雪機を設置した。</p>	<p>[効果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除雪機を購入により、地域コミュニティへの除雪機貸与が可能となった。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度については、記録的な暖冬及び住民への周知不足から、整備した除雪機が地域に活かされなかったため、次年度において一層の啓発宣伝が必要。</li> </ul>	<p>市社会福祉協議会との連携など除雪機貸与の回転率を上げるための方法を検討。</p>
9	ふれあいサロン運営事業	地域の相談対応及び住民同士の相互交流の場として、廃止した市連絡所等を活用し、ふれあいサロンの運営を行う。	<p>夕張市内4か所(若菜、清水沢、沼ノ沢、紅葉山)においてふれあいサロンを週2回のペースで開設。</p>	<p>[効果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各サロンにおいて、お年寄り向けの相談業務を行うほか、それぞれの地域の特色を活かした取り組みを実施し、住民からも好評を得ている。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業は地域住民からの継続要望も多く、事業の維持継続のための方法(財源、効率的運用方法)の検討が望まれる。</li> </ul>	<p>本事業を維持継続するため一層の効率化が図れないか検討するほか、財源についても諸制度の研究が必要。</p>

注 1 (1)に記載した番号に対応する事業について、単年度の状況及び効果や課題を踏まえた今後の事業展開を記載すること。